



巻頭言

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-11-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 石井, 実 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/16091

巻頭言

学術情報センター長 石井 実

学術情報センターは、大阪府立大学における情報の管理基盤として、情報の有効利用促進とリスクからの保護という、大きく分けて二つの役割を担っています。

近年のICT技術の進歩や大学運営における情報管理の重要性の高まり、及び大学自体が高度研究型大学を標榜し進化するに伴い、その役割はさらに高度化、複雑化しています。

2017年4月施行の「公立大学法人大阪府立大学オープンアクセス方針」に則った情報提供サービスの確保は、より一層重要な当センターのミッションとなっています。その受け皿として、本学の学術情報リポジトリ「OPERA」では教員や学生の学術研究成果を広く無償で公開しており、2017年度は啓発推進のための体制整備により、登録数も徐々に増え、初年度の目標は達成しました。また、年々高騰する電子ジャーナル等の電子リソースのタイトル維持のため、2020年度までの研究環境維持計画を立て、その保障を確定させました。今後、オープンサイエンスの急速な進展に伴う変化に乗り遅れぬよう、2018年度はさらにオープンアクセスの促進による情報提供サービスの充実に注力し、高度研究型大学としてのミッションを果たすべく、関係各部署との連携のもと、研究環境の整備の一端を担ってまいります。

一方で、本学においても研究・教育に関する情報や教職員・学生の個人情報など、重要な情報は数多くあり、情報セキュリティの維持・向上は継続的に取り組むべき重要事項です。

本学では2017年4月より「大阪府立大学情報格付け取扱手順」を施行し、学内の情報のセキュリティレベルとそれに応じた取り扱いのルールを策定するとともに、その内容の周知徹底に向けて教職員対象の研修等の啓発など、種々の活動を継続して実施しています。また情報の取扱に関する運用状況の確認を目的に、情報セキュリティ監査を実施しました。これについては2018年度も実施予定です。

この他、情報セキュリティに関する対策やインシデント発生時の迅速な対応を行うため、さらなる情報セキュリティ体制の強化として、大学内部組織としての情報セキュリティインシデント対応チーム(OPU-CSIRT)の設置に向けた検討を行っています。幸い、2017年度も重大なセキュリティ事故は発生しておりませんが、今後とも上記の活動を含めさまざまな対策を継続的に講じてまいりますので、引き続きご協力をお願いします。

本法人は、2019年4月に公立大学法人大阪市立大学と法人統合することが決定

しており、大阪市立大学との大学統合についても検討が進んでいます。このような中、法人統合後および大学統合後の情報システムのあるべき姿、情報システムの運用体制や運用のルール、情報セキュリティポリシーと対策の統合等を行う必要があります。2017年度は、ネットワーク、情報基盤に関する統合後の姿を議論してきましたが、今後も円滑な統合に向けて鋭意検討を進めてまいります。

今後も学術情報センターとしての責務の重要性を再認識し、利便性の向上、運用面での改善に努めてまいります。これまでの関係各位のご協力に感謝するとともに、引き続きご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。